



ネットワーク機能、SDメモリーカード機能編

(TH-L735NT)

もくじ (ネットワーク機能、SDメモリーカード機能編)

使用上のお願い	4	SDメモリーカード内のデータを バックアップするには	5
SDメモリーカードについて	4	書き込み禁止スイッチについて	5
取り扱い上のお願い	4	ワイヤレスカードについて	6
保管上のお願い	4	使用できるチャンネルについて	8
大切なデータを保護するために	4		
<hr/>		<hr/>	
ネットワーク機能/ SDメモリーカードの利用例	9	SDメモリーカード	9
ネットワーク機能	9	ネットワーク機能/SDメモリーカード	10
<hr/>		<hr/>	
本機へのワイヤレスカード、SDメモ リーカードの挿入、取り出し	11	ワイヤレスカード	11
		SDメモリーカード	12
<hr/>		<hr/>	
パソコンへのワイヤレスカードの挿 入、取り出し	13		
<hr/>		<hr/>	
ソフトウェアのインストール	14	Wireless LAN Driver	15
Wireless Manager 3.0 /Image Creator 1.0A	14		
<hr/>		<hr/>	
ワイヤレス簡単接続	21	本機との接続を解除する	23
本機の操作	21	一時的に解除する	23
パソコンの操作	22	完全に解除する	23
<hr/>		<hr/>	
ネットワーク設定	25	本機の設定	27
パソコン間通信を使用する	25	パソコンの設定	30
通信モードが802.11 アドホック (Peer to Peer) の場合の設定例	25	TCP/IPの設定	30
AP (アクセスポイント) を使用する	26	別売ワイヤレスカード (TW-CDWL2) 使用のための設定	34
設定例	26		
<hr/>		<hr/>	
Wireless Manager 3.0を使用する	38	画像の送信	41
起動	38	プレゼンモード	42
ライブモード	38	プログレスバー	42
転送モードの選択	38	表示画面の切り替え	42
ライブモード中	39	その他の機能	44
ライブモードの中止、再開	39	本機の検索	44
会議モード (画面キャプチャ)	39	本機の登録	44
取り込みフォーマットの選択	40	本機の削除	44
取り込み後の作業	40	接続確認	44
取り込み遅延時間設定	40	送信者の表示、送信者名	45
パワーポイント⇒プレゼンモード	41	ショートカットキーの設定	45
プレゼンモード	41	自動再生の設定	45
		簡単接続の設定	45

WEBブラウザコントロールを使用する	46
本機の設定	46
WEB制御	46
WEB電源	46
WEBパスワード	46
パソコンの設定	47
WEBブラウザコントロールの起動	48
トップ画面	48
プロジェクタコントロール	49
基本制御画面	49
オプション制御画面	49
モニター情報画面	50

SDコントロール	51
SDファイルリスト画面	51
SDサムネイル画面	51
プレゼンテーション画面	52
パスワードの変更	52
PDAを使用する	53
WEBブラウザコントロール (PDA)の起動	53
トップ画面	53
メニュー画面	54
Projector Control	54
SD Control	55
Status	55

Image Creator 1.0Aを使用する	56
Image Creator 1.0Aの起動/終了	56
起動	56
終了	56
メイン画面の各部の機能	56
取り込み画像の変換と保存	58
Microsoft PowerPoint	
97/2000/2002で作成したプレゼン	
テーションファイルを取り込む	60
他のアプリケーションで作成された	
JPEGファイルやBMP、TIFF、PNG	
ファイルを取り込む	61
「画像取り込み」ボタンを押す	61
取り込みできない画像について	61
ドラッグ&ドロップでファイル	
を取り込む	61

画像を並べ替える	62
画像を削除する	62
画像書き出し時に変換設定する	63
DCF規格について	65
ディレクトリ (フォルダ) 名	65
ファイル名	65
ファイル形式	65
SDメモリーカードを使用する	66
SDメモリーカードの画像を再生する	66
SD VIEWER (SD用ガイド表示)	67
フォルダ選択画面	67
ファイル選択画面	67
自動再生 (オートプレイ) の設定	68

ソフトウェアのアンインストール	70
Wireless Manager 3.0	70

Image Creator 1.0A	70
Wireless LAN Driver	70

用語の説明	71
修理を依頼される前に	74

商標について	76
--------	----

使用上のお願い

SDメモリーカードについて

24 mm×32 mm×2.1 mmの切手とほぼ同じ大きさの半導体メモリーで、MD（ミニディスク）やCD（コンパクトディスク）、カセットテープに代わる次世代の記録媒体です。また、データの読み書きや削除を繰り返すことができます。

■ 取り扱い上のお願い

以下のことは避けてください。

- 分解する、改造する。
- 強い衝撃を与える、ねじる、曲げる、落とす、踏む、水に濡らす。
- 布やビニールでこすったり、静電気や電磁場の発生しやすいものに近づける。
- 金属端子部を手や金属で触る、シールを貼る、あるいは汚す。
- 貼られているラベルをはがす。
- 新たにラベルやシールを貼る。
- SDメモリーカード対応の機器以外（例：マルチメディアカード対応機器）に挿入する。
- 本機のSDメモリーカード挿入口にSDメモリーカード以外のものを入れる。
- ひび割れたり、変形したカードを使用する。
- 風呂場などの湿気が多いところや、倉庫などのほこりが多いところでの使用。

■ 保管上のお願い

- 本体から取り出したときは、必ずケースに収納してください。
- 高温になる車の中や、直射日光の当たるところなど温度が高くなる場所、また腐食性ガスなどが発生するところには置かないでください。

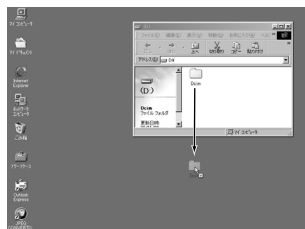
■ 大切なデータを保護するために

- データを読み書きしているとき（SDメモリーカードアクセスランプ点滅中）は電源を切ったり、SDメモリーカードを抜いたりしないでください。データが破壊されることがあります。
- SDメモリーカード内のデータは、必ずバックアップをおとりください。場合によっては、お客様の大切なデータを破壊することがあります。

使用上のお願ひ

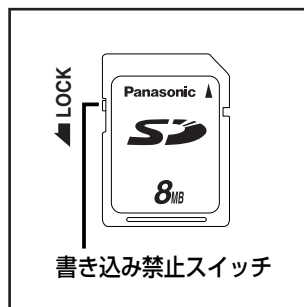
■ SDメモリーカード内のデータをバックアップするには

お使いのパソコンのマイコンピュータ内（Macintoshの場合はデスクトップ上）にあるSDメモリーカードのドライブアイコンをダブルクリックで開き、「DCIM」および「PRIVATE」フォルダをデスクトップ上に（Macintoshの場合は、「Option」ボタンを押しながら）すれば、お使いのパソコンに「DCIM」および「PRIVATE」フォルダ内のすべてのデータがバックアップできます。



■ 書き込み禁止スイッチについて

- SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」にすると、本機で画像の削除や移動などの編集ができなくなります。（エラーメッセージが表示されます。）
- SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」にした状態で、PCカードアダプターでパソコンに挿入すると、アクセス時にブルー画面の警告表示が出ます。この場合は、パソコンのキーボードのいずれかのボタンを押して、表示を元に戻してください。パソコンでSDメモリーカードを使用する場合は、書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていないことを確認してください。



以下のことをあらかじめご了承ください。

- 本機の使用または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

使用上のお願い

ワイヤレスカードについて

別売のワイヤレスカード（TW-CDWL2）は、2.4 GHz帯域の電波を使用します。ワイヤレスカードを使用する場合、無線局の免許は必要ありませんが、下記の内容を十分理解してご使用ください。

■ 他の無線機器の近くで使用しないでください。

下記の機器は、ワイヤレスカードと同じ帯域の電波を使用している可能性があります。これらの近くでワイヤレスカードを使用すると、電波の干渉により通信できなくなったり、通信速度が遅くなったりする場合があります。

- 電子レンジなど
- 産業・科学・医療用機器など
- 工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局
- 特定小電力無線局

■ ワイヤレスカードの近くでは、携帯電話・テレビ・ラジオをできるだけ使用しないでください。

携帯電話・テレビ・ラジオなどは、ワイヤレスカードと違う帯域の電波を使用しておりますので、ワイヤレスカードの通信や、これらの機器の送受信には影響ありません。しかし、ワイヤレスカードからの電波により、音声や映像にノイズが発生することがあります。

■ 鉄筋・金属・コンクリートなどは、ワイヤレスカードの電波を通しません。

木材やガラス（金属メッシュ入りガラスを除く）などの壁や床を通して通信することはできますが、鉄筋・金属・コンクリートなどの壁や床を通して通信することはできません。

使用上のお願い

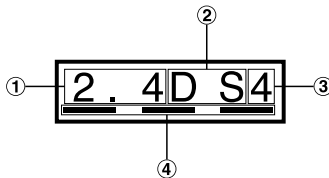
この機器の使用周波数帯は、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）で使用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が使用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉が発生した場合は、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先に混信回避のための処置（パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、下記連絡先へお問い合わせください。

お客様ご相談窓口

☎ (06) 6906-2894

カード裏面ラベルの記号について



①	使用周波数帯域	2.4 GHz
②	伝送方式	DS-SS方式
③	想定干渉距離	40 m以下
④	周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」 「特定小電力無線局」帯域を回避可能

使用上のお願い

■ 使用できるチャンネルについて

ワイヤレスカードを使用される国または地域によって使用できるチャンネル（周波数範囲）が異なります。下記の表を参照してください。

国または地域	規格	カード品番 の下二桁※	使用 チャンネル	周波数帯域 (中心周波数)
日本	ARIB STD33 & T66	22	1~14	2 412 MHz~ 2 484 MHz
アメリカ	FCC part 15	23	1~11	2 412 MHz~ 2 462 MHz
カナダ	IC			
台湾	DGT			
マレーシア	SIRIM			
イギリス、ドイツ、 フランス、イタリア、 ベルギー、オースト リア、スウェーデン、 ノルウェー、デンマ ーク、スイス、オラ ンダ、フィンランド、 ポルトガル、ギリシ ャ、タイ、韓国、オ ーストラリア、ニュ ージーランド	ETSI 300.328	24	1~13	2 412 MHz~ 2 472 MHz
スペイン	ETSI 300.328	25	10、11	2 457 MHz~ 2 462 MHz
シンガポール	IDA	26	10~13	2 457 MHz~ 2 472 MHz

※お買い上げのワイヤレスカードが、どの地域向けの商品であるかを調べるには、カード裏面ラベルの右図の位置に記載されている品番の下二桁を確認してください。



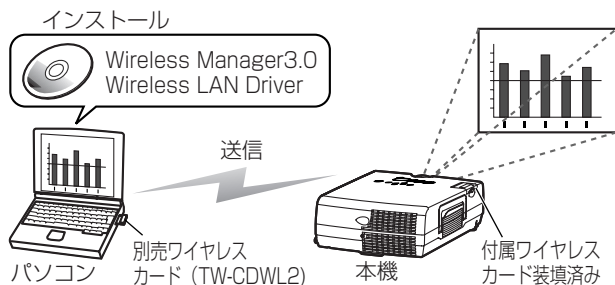
お知らせ：

指定された国以外に、ワイヤレスカードを持ち込むことはできません。もし、持ち込んで使用した場合、その国の電波法に抵触する恐れがあります。

ネットワーク機能／SDメモリーカードの利用例

ネットワーク機能

ワイヤレスでパソコンの画像を投写する



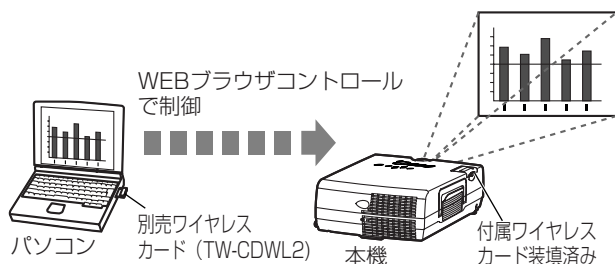
ワイヤレスでパソコン画像を常に投写することができます。

ワイヤレス簡単接続
→21ページ

ネットワーク設定
→25ページ

ソフトウェアのインストール
→14ページ

WEBブラウザコントロールで本機を制御する



WEBブラウザで本機にアクセスし、本機の電源オン、オフなどの制御ができます。

ワイヤレス簡単接続
→21ページ

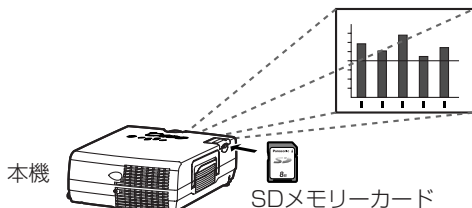
ネットワーク設定
→25ページ

WEBブラウザコントロール
→46ページ

SDメモリーカード

本機単体でSDメモリーカードの画像を投写する

→66ページ

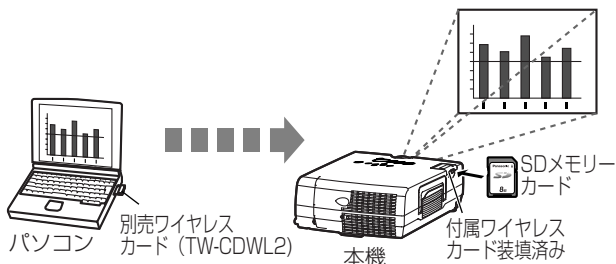


SDメモリーカードに記録されている画像の一覧表示（サムネイル画像）やスライドショーのような自動再生ができます。

ネットワーク機能／SDメモリーカードの利用例

ネットワーク機能／SDメモリーカード

WEBブラウザコントロールでSDメモリーカードの画像を投写する



WEBブラウザで本機にアクセスし、本機に装填しているSDメモリーカードの画像データを投写することができます。

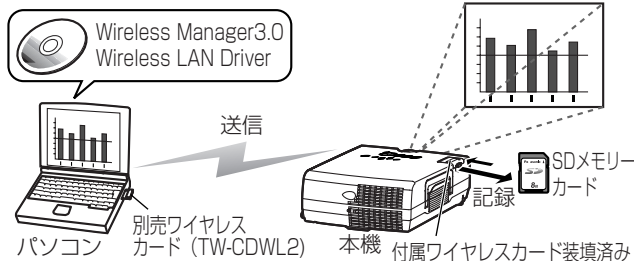
ワイヤレス簡単接続
→21ページ

ネットワーク設定
→25ページ

WEBブラウザコントロール→46ページ

パソコンから画像データを本機に転送したり、本機に装入したSDメモリーカードに記録する

インストール



付属の「Wireless Manager 3.0」により、パソコンから本機に装填しているSDメモリーカードに画像データを転送、記録し、画像をすばやく切り替えながら投写することができます。

ワイヤレス簡単接続
→21ページ

ネットワーク設定
→25ページ

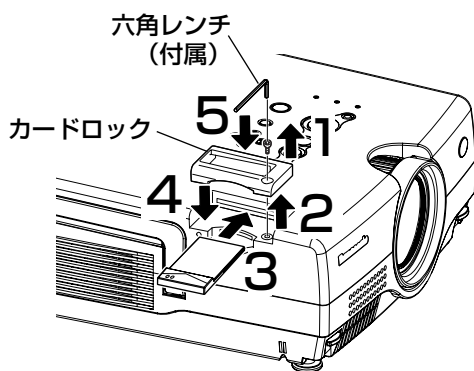
ソフトウェアのインストール
→14ページ

本機へのワイヤレスカード、 SDメモリーカードの挿入、取り出し

ワイヤレスカード

挿入

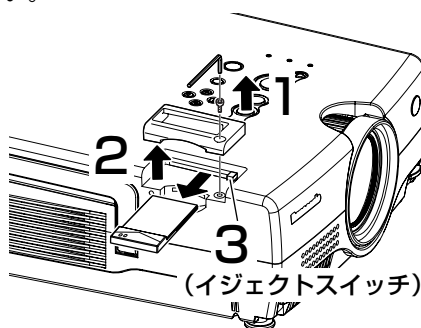
- [MAIN POWER] スイッチの "O"側を押して電源を切った状態で行ってください。
- 間違った方向でカードを無理に挿入すると故障の原因になることがあります。



- 1 カードロックのネジを取り外す
- 2 カードロックを取り外す
- 3 カードをロックするまで差し込む
- 4 カードロックを取り付ける
- 5 ネジでカードロックを固定する

取り出し

[MAIN POWER] スイッチの "O"側を押して電源を切った状態で行ってください。



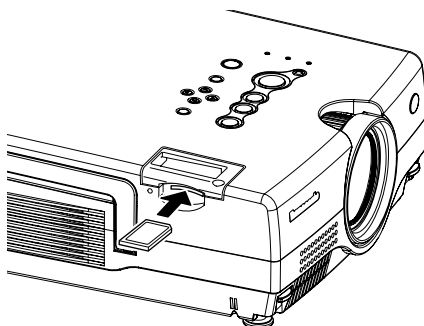
- 1 カードロックのネジを取り外す
- 2 カードロックを取り外す
- 3 イジェクトスイッチを押し、カードを取り出す

本機へのワイヤレスカード、SDメモリーカードの挿入、取り出し

SDメモリーカード

挿入

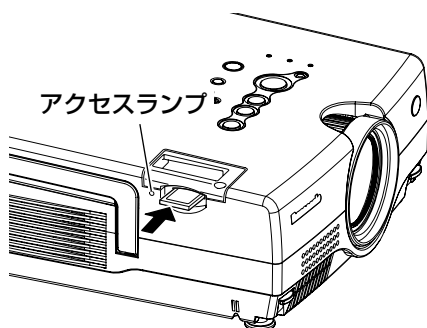
間違った方向でカードを無理に挿入すると故障の原因になることがあります。



カードをロックするまで差し込む

取り出し

取り出す前にアクセスランプが点滅していないことを必ず確かめてください。点滅中に行うとカードのデータが破壊されることがあります。

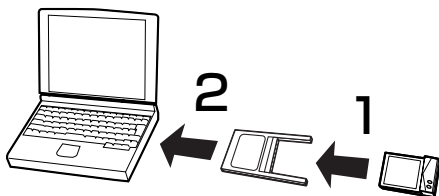


中央部を押してロックを解除し、カードを取り出す

パソコンへのワイヤレスカードの挿入、取り出し

挿入

- 挿入前に必ず Wireless LAN Driver をインストールしておいてください。(→15ページ)
- 別売ワイヤレスカード (TW-CDWL2) の場合の例です。他のカードの場合はカードの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンの取扱説明書もよくお読みください。
- 間違った方向でカードを無理に挿入すると故障の原因になることがあります。



1 カードをアダプターに取り付ける

2 パソコンのPCカードスロットに挿入する

取り出し

Wireless Manager 3.0 を使用している場合は終了させてください。

1 画面右下のタスクバーに表示されている [PCカード] のアイコンを左クリックする

[PCカード] のアイコンが表示されていない場合:
[スタートメニュー] → [コントロールパネル] → [PCカード] を開く → [タスクバー上にコントロールを表示する] をチェック → [OK] を押す

2 [Panasonic Wireless LAN PC Card] を選択し、[停止] をクリックする

3 [OK] を押す → ワイヤレスカードを取り出す

ソフトウェアのインストール

Wireless Manager 3.0/Image Creator 1.0A

Wireless Manager 3.0 :

ワイヤレスLANで、パソコンから画面や画像ファイル（JPEG、PNG画像）をプロジェクターに送るために使用します。

Image Creator 1.0A :

PowerPointファイルを画像データに変換するために使用します。

お知らせ :

- Windows上で起動しているすべてのソフトを終了してください。インストールできなくなる場合があります。
- すでにWireless Manger 2.0、Image Creator 1.0 がインストールされているときは、インストールする前に削除してください。（→70ページ）
- Windows XP/2000 では、インストールするためにAdministratorの権限が必要です。

1 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

自動的にインストールプログラムが起動し、下の画面が表示されます。



お知らせ :

自動的に起動しないときは、CD-ROM内の [EasyInstall] → [Easy_Inst.exe] をダブルクリックしてください。

2 [Wireless Manager 3.0]をクリックする

画面の指示に従ってインストールしてください。

3 [Image Creator 1.0A]をクリックする

画面の指示に従ってインストールしてください。

ソフトウェアのインストール

Wireless LAN Driver

パソコンでワイヤレスカードを使用するためには、Wireless LAN Driverのインストールが必要です。

- 別売ワイヤレスカード（TW-CDWL2）の場合のインストール例を以下に説明します。他のカードの場合はそのカードの取扱説明書をご覧ください。
- いくつかの画面は英語で表示されます。

お願い：

- Wireless LAN Driverをパソコンにインストールするときは、ワイヤレスカードをパソコンに挿入する前に実行してください。
- 誤ってドライバのインストール前にカードをパソコンに挿入した場合は、ハードウェアの自動検出により不明なデバイスとして認識されます。カードを挿入したまま以下の作業をしてからインストールしてください。

Windows XP/2000： [コントロールパネル] → [システム] → [ハードウェア] → [デバイスマネージャ] で不明なデバイスまたは Panasonic Wireless LAN PC Card があれば削除する

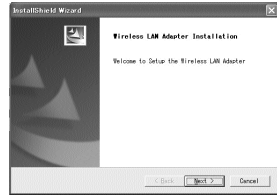
Windows 98 SE/Me： [コントロールパネル] → [システム] → [デバイスマネージャ] で不明なデバイスまたは Panasonic Wireless LAN PC Card があれば削除する

ソフトウェアのインストール

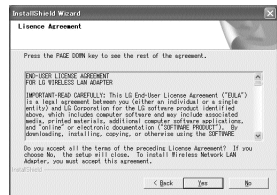
Windows XP の場合：

1 14ページ手順1の画面で [Wireless LAN Driver] をクリックする

ワイヤレスLANのインストーラが起動されます。



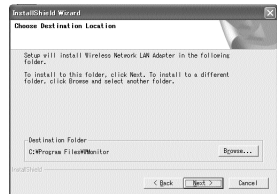
2 [Next] (次へ) をクリックする
License Agreement (使用許諾) が表示されます。



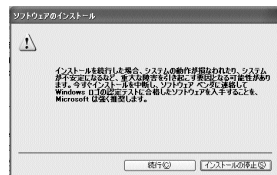
3 [Yes] (同意) をクリックする

4 ユーティリティの保存先を指定 → [Next] をクリックする

ロゴ認証のメッセージが表示されます。



5 [続行] をクリックする



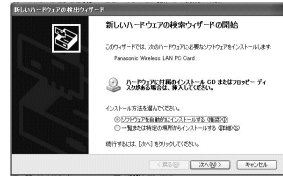
6 [Finish] (完了) をクリックする



ソフトウェアのインストール

7 別売ワイヤレスカード (TW-CDWL2) をCFカードアダプタを介してパソコンに挿入する (→13ページ)

新しいハードウェアの検出ウィザードが起動されます。



8 [ソフトウェアを自動的にインストールする] にチェックが入っているのを確認 → [次へ] をクリックする

ロゴテキストのメッセージが表示されます。

9 [続行] をクリックする

ウィザードの完了メッセージが表示されます。



10 [完了] をクリックする

ロゴ認証のメッセージが表示されます。



インストール後の確認:

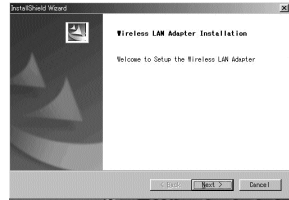
[スタート] → [すべてのプログラム] → [接続] → [すべての接続の表示] でワイヤレスネットワーク接続のアイコンに [Panasonic Wireless LAN PC Card] が追加されていることを確認してください。

ソフトウェアのインストール

Windows 2000 の場合：

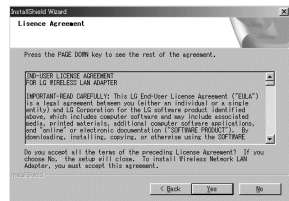
1 14ページ手順1の画面で [Wireless LAN Driver] をクリックする

ワイヤレスLANのインストーラが起動されます。



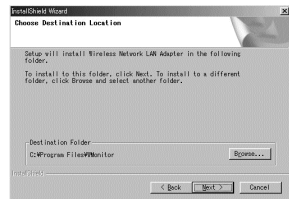
2 [Next] (次へ) をクリックする

License Agreement (使用許諾) が表示されます。



4 ユーティリティの保存先を指定 → [Next] をクリックする

ソフトウェアがダウンロードされ、[デジタル署名が見つかりませんでした]が表示されます。



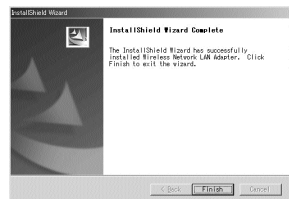
5 [はい] をクリックする

画面の指示に従って作業を進めてください。



6 [Finish] (完了) をクリックする

インストールが完了です。



7 別売ワイヤレスカード (TW-CDWL2) をCFカードアダプタを介してパソコンに挿入する

(→13ページ)

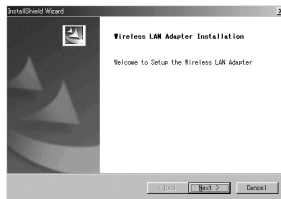
[デジタル署名が見つかりませんでした]が表示されたら [はい] をクリックして続行してください。

ソフトウェアのインストール

Windows 98SE/Me の場合：

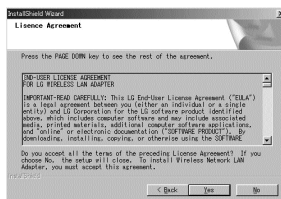
1 14ページ手順1の画面で [Wireless LAN Driver] をクリックする

ワイヤレスLANのインストーラが起動されます。



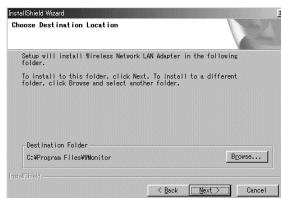
2 [Next] (次へ) をクリックする

License Agreement (使用許諾) が表示されます。



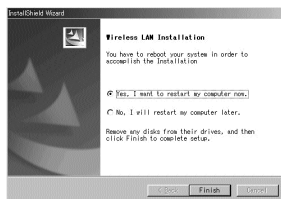
4 ユーティリティの保存先を指定 → [Next] をクリックする

ソフトウェアがダウンロードされます。



5 [Yes, I want to restart my computer now.] (今からパソコンを再起動します。) にチェックがあるのを確認 → [Finish] (完了) をクリックする

パソコンが再起動されます。



6 別売ワイヤレスカード (TW-CDWL2) をCFカードアダプタを介してパソコンに挿入する

(→13ページ)

右の常駐アイコンが確認できればインストール完了です。常駐アイコンがないときは、[スタート] → [プログラム] → [Wireless Network] → [Wireless Network LAN Adapter] を選択する



ソフトウェアのインストール

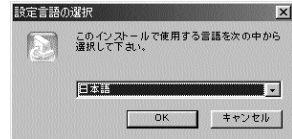
Windows CE の場合：

お願い：

パソコンとPDA（携帯情報端末）との間で Active Sync によりデータ通信を可能にしておいてください。

1 付属のCD-ROM内の [Wireless Card] → [Win CE] を開き、 [setup.exe] をクリックする

フォルダ設定言語の選択画面が表示されます。



2 [日本語] を選択 → [OK] をクリック → [次へ] をクリックする

使用許諾画面が表示されます。



3 [はい] をクリックする

画面の指示に従って作業を進めてください。



4 [完了] をクリックする

PDAの画面に [Unable to connect...] が表示されますので [OK] をクリックしてください。



5 別売ワイヤレスカード (TW-CDWL2) をPDAに挿入する

ワイヤレス簡単接続（ライブモード）

本機とパソコンを1:1でワイヤレス接続する場合、付属のワイヤレスカードと別売のワイヤレスカード（品番：TW-CDWL2）を使用して簡単接続モードにするとIPアドレス、通信モードなど必要な設定が自動的に行われます。

お知らせ：

- 上記の別売ワイヤレスカードをお使いでない場合、Windows 2000/Me/98SEでは、簡単接続は使用できません。
- Windows XP でも、すべてのワイヤレスカードやパソコン内蔵のワイヤレスLANアダプタでの動作を保証するものではありません。
- 簡単接続中は、他のネットワークアダプタの使用はできません。

本機の操作

1 付属のワイヤレスカードを本機に挿入する（→11ページ）
プロジェクター側のカードは、付属のカード以外は使用できません。

2 本機の電源をオンにする

3 [RGB] ボタンで [NETWORK] を選択する

4 [MENU] ボタンを押す → [◀▶] ボタンでネットワーク設定画面を表示 → [▼] ボタンを押す

5 [▲▼] ボタンで [簡単接続] → [◀▶] ボタンで [オン] を選択する



お知らせ：

ネットワーク設定が出荷時のままの場合は、手順4と5は不要です。

ワイヤレス簡単接続（ライブモード）

パソコンの操作

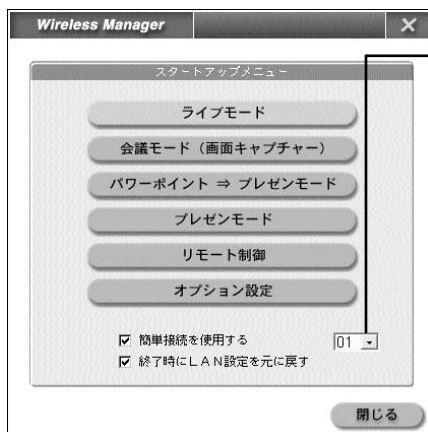
下記を実行する前に必ずWireless LAN Driverのインストールをしてください。
(→ 15ページ)

1 別売ワイヤレスカードをパソコンに挿入する (→13ページ)

2 パソコンの電源をオンにする

3 [スタート] → [プログラム] → [Wireless Manager] → [Wireless Manager 3.0] を選択する

下の画面が表示されます。



各パソコンで違う番号を選択してください。
最大20台のパソコンとの簡単接続が可能です。ただし、同時には使用できません。

4 [簡単接続を使用する] にチェック → [ライブモード]を選択する

パソコンの画面がプロジェクタで投写されます。

お知らせ：

[終了時にLAN設定を元に戻す] にチェックがあるときは、Wireless Manager 3.0 の終了時に簡単接続設定前のLAN設定に戻ります。ただしWindows XPの場合は [終了時にLAN設定を元に戻す] は設定できません。

ワイヤレス簡単接続 (ライブモード)

本機との接続を解除する

■ 一時的に解除する

1 パソコン右下の常駐アイコンを右クリックする

右の画面が表示されます。

2 [ライブモード] をクリックする

チェックマークがなくなり、常駐アイコンが青色に変わって接続が解除されます。

常駐アイコンをダブルクリックしても解除できます。



ライブモード
画面キャプチャー

プレゼンモード

リモート制御
オプション

スタートアップメニュー
バージョン情報

終了

接続を再開するには：

[ライブモード] を再度クリックするか、常駐アイコンを再度ダブルクリックしてください。

チェックマークがつき、常駐アイコンが緑色に変わります。

■ 完全に解除する

Windows XP/2000の場合：

1 パソコン右下の常駐アイコンを右クリックする

右の画面が表示されます。

2 [終了] をクリックする

3 [ワイヤレスマネージャを終了しますか?] で [はい] を実行する

[終了時にLAN設定を元に戻す] にチェックされていると、終了時にパソコンが元のネットワーク設定に自動的に戻ります。ただし、元のネットワーク設定に戻るまでに時間を要することがあります。

ライブモード
画面キャプチャー

プレゼンモード

リモート制御
オプション

スタートアップメニュー
バージョン情報

終了

ワイヤレス簡単接続（ライブモード）

Windows 98SE/Meの場合：

1 パソコン右下の常駐アイコンを右クリックする

右の画面が表示されます。



2 [終了] をクリックする

3 [ワイヤレスマネージャを終了しますか?] で [はい] を実行する

[終了時にLAN設定を元に戻す] にチェックされていると、終了時にパソコンが元のネットワーク設定に自動的に戻ります。ただし、元のネットワーク設定に戻るまでに時間を要することがあります。

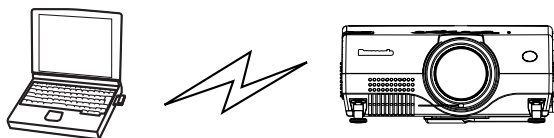


ネットワーク設定

簡単接続を使用しないで、パソコンと本機をワイヤレス接続する場合は、以下のネットワーク設定が必要です。

パソコン間通信を使用する

■ 通信モードが802.11 アドホック (Peer to Peer) の場合の設定例



設定項目	本機の設定 (出荷時)	パソコンの設定 (簡単接続時)
SSID	Panasonic Projector	Panasonic Projector
通信モード	802.11 アドホック	802.11 アドホック (Peer to Peer)
IPアドレス	192.168.10.10~12 (LAN1~LAN3)	192.168.10.21~40
サブネットマスク	255.255.255.0	255.255.255.0
チャンネル	11	不要 (自動設定)
WEP (暗号化)	なし	なし

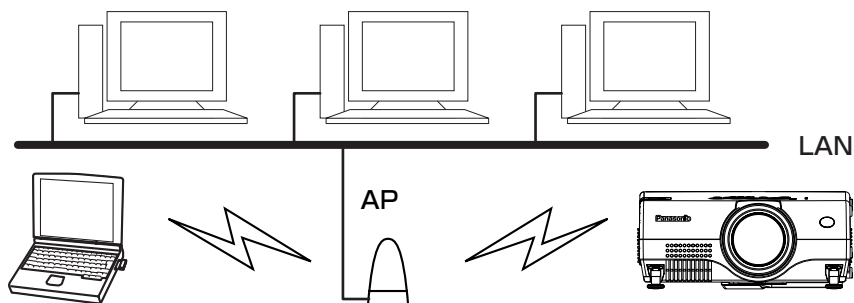
本機は出荷時、通信モードが802.11 アドホック (Peer to Peer、ピアツーピア) になっていますので、パソコン側の設定は上記を参考に設定してください。
WEP機能を使用する場合は、本機、パソコンとも同一の設定にしてください。
ワイヤレスカードによっては、このモードに対応していないものもあります。
802.11 アドホック (Peer to Peer) に対応したカードをお使いください。

お知らせ：

本機の設定のチャンネルについては、工場出荷時の設定であり、接続時のチャンネルを指定するものではありません。

ネットワーク設定

AP（アクセスポイント）を使用する



■ 設定例

設定項目	本機の設定	パソコンの設定
SSID	アクセスポイントに設定されているSSIDと同じ設定にする（ネットワーク管理者にご相談ください）	
通信モード	インフラ（インフラストラクチャ）	インフラ（インフラストラクチャ）
IPアドレス サブネットマスク	設定については、ネットワーク管理者にご相談ください	
チャンネル	不要	不要
WEP（暗号化）	アクセスポイントに設定されているWEPと同じ設定にする（ネットワーク管理者にご相談ください）	

お知らせ：

- アクセスポイントに電波が届かない所で使用するときは、802.11 アドホックモードでお使いください。
- 本機のSSIDは最大32文字までで、半角英数文字と記号が使用できます。このため本機で設定できないSSIDがアクセスポイントに設定されている場合は、ネットワーク管理者に相談して本機で設定できるSSIDに変更してください。
- 本機はDHCPに対応していません。DHCPサーバーを使用しているLANの場合、本機に固定のIPアドレスを割り当てる必要があります。詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。

ネットワーク設定

本機の設定

1 本機にワイヤレスカードを挿入する (→11ページ)

2 [MENU] ボタンを押す
メニュー画面が表示されます。

3 [◀▶] ボタンでネットワーク設定画面を表示 → [▼] ボタンを押す



4 [▲▼] ボタンで設定項目を選択する

■ ネットワーク

本機では3種類のネットワーク設定 (LAN1~LAN3) を保存できます。

ネットワーク設定を表示する

LAN1~LAN3を [◀▶] で選択 → [ENTER] を押す

ネットワーク設定を変更する

設定項目を [▲▼] で選択する

ネットワークステータス	
ID	LAN1
IPアドレス	192.168. 10. 10
サブネットマスク	255.255.255. 0
ゲートウェイ	192.168. 10. 1
モード	802.11 アドホック
SSID	
チャンネル	11
WEP	40(64)ビット
キーID	キー1
フォーマット	16進
キー1	*****
キー2	*****
キー3	*****
キー4	*****
	実行 中止

IPアドレス:

[▲▼◀▶] で数字 “.” (ピリオド) を選択 → [ENTER] を押す →

[実行] を選択 → [ENTER] を押す

- 本機のIPアドレスを設定します。設定例を参考にしてください。ただし、通信するパソコンと同じIPアドレスは使用できません。

サブネットマスク:

[▲▼◀▶] で数字 “.” (ピリオド) を選択 → [ENTER] を押す →

[実行] を選択 → [ENTER] を押す

- 本機のサブネットマスクを設定します。設定例を参考にしてください。

ネットワーク設定

ゲートウェイ：

[▲▼◀▶] で数字 “.” (ピリオド) を選択 → [ENTER] を押す → [実行] を選択 → [ENTER] を押す

- 2つのネットワークを接続する中継点です。
- インフラ (インフラストラクチャ) モードや、802.11 アドホック (Peer to Peer) モードで、異なるセグメントのネットワークやインターネットに接続するときは、このアドレスの指定が必要です。ネットワークの管理者にご相談ください。

モード：

802.11 アドホック、インフラを [◀▶] で切り替え

- 802.11 アドホック (Peer to Peer) モードを使用 → 802.11 アドホックに設定
- AP (アクセスポイント) を使用 → インフラに設定

SSID：

[▲▼◀▶] で文字を選択 → [ENTER] を押す → [実行] を選択 → [ENTER] を押す

- 通信モードでインフラを選択している場合、アクセスポイントに設定されている SSID または、ESSID と同じ文字列にしてください。
- 通信モードで 802.11 アドホック を選択している場合、接続するパソコンに設定されている SSID または、ESSID と同じ文字列にしてください。
- 本機のSSIDは最大32文字の英数字です。本機で設定できない SSID がアクセスポイントに設定されている場合は、ネットワーク管理者に相談して本機で設定できる SSID に変更してください。

チャンネル：

設定できません。802.11 アドホックとインフラモードのチャンネルは自動設定になります。

WEP (暗号化鍵のサイズ)：

64 bits、128 bits、オフを[◀▶] で切り替える

- 暗号化通信に必要な鍵のサイズを設定します。
- パソコンやアクセスポイントの設定に合わせてください。なお、64 bitsは40 bits、128 bitsは104 bitsと表記される場合もあります。

キー ID (暗号化鍵ID)：

KEY1～KEY4 を [◀▶]で切り替える

- 使用する暗号鍵のIDを選択します。パソコンやアクセスポイントの設定に合わせてください。
- KEY1～KEY4 のどのキーを使用し暗号化するのかを決定します。

フォーマット：

16進、文字を [◀▶] で切り替える

- WEPキー入力のフォーマットを切り替えます。

ネットワーク設定

キー1～キー4：

[▲▼◀▶] で文字を選択 → [ENTER] を押す

16進：64 bitsでは10桁、128 bitsでは26桁の0～9、A～Fで入力します。

文字：64 bitsでは5文字、128 bitsでは13文字の英数字で入力します。

- パソコンやアクセスポイントの設定に合わせてください。

ネットワーク設定を有効にする

[実行] を選択 → [ENTER] を押す

■ 簡単接続

オン、オフを [◀▶] 切り替える

- Wireless Manager で簡単接続を使用する場合、オンにしてください。
- オンの場合、ネットワークのLAN1～LAN3の設定メニューに切り換わりません。

■ ホスト名

[▲▼◀▶] で文字を選択 → [ENTER] を押す → [実行] を選択 → [ENTER] を押す

- ネットワーク上での本機の名前を決定します。最大16文字の英数字です。

■ WEB制御

オン、オフを [◀▶] 切り替える

- ブラウザから本機の制御を行う場合オンにしてください。

■ WEB電源

オン、オフを [◀▶] 切り替える

- 本機のランプ消灯状態でブラウザからランプを点灯させる場合、オンにしてください。
- オンの場合、通常のスタンバイ状態より消費電力が増加します。

■ WEBパスワード

[▲▼◀▶] で文字を選択 → [ENTER] を押す → [実行] を選択 → [ENTER] を押す

- ブラウザから本機の制御を行うトップページで入力するパスワードとなります。

■ SDモード

VIEWER、WEB を [◀▶] 切り替える

- VIEWER：SDチャンネルを選択した場合、SDカード内の画像ファイルのサムネイルが表示されます。本機単体で使用するモードです。
- WEB：SDチャンネルを選択しても、SDカード内の画像ファイルのサムネイルが表示されません。
- ブラウザから本機を制御し、SDカード内の画像データでプレゼンテーションをするときは、WEB を選択してください。

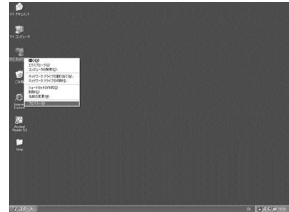
ネットワーク設定

パソコンの設定

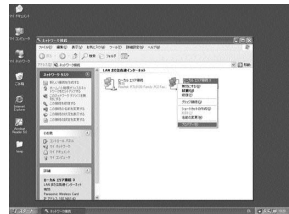
■ TCP/IPの設定

Windows XP/2000の場合：
画面は、Windows XPの例です。

- (1) [マイネットワーク] を右クリック → プロパティを開く



- (2) [Panasonic Wireless LAN PC Card] を右クリック → プロパティを開く

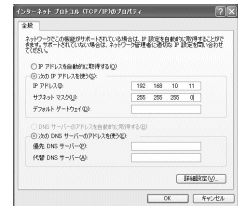


- (3) インターネットプロトコル (TCP/IP) を選択 → [プロパティ] をクリックする



- (4) 本機で設定したIPアドレスと同じセグメントのIPアドレスを入力する

- (5) 本機で設定したサブネットマスクと同じ値を入力 → ゲートウェイを設定 (インフラストラクチャモードのみ) → [OK] をクリック → 前画面に戻る



- (6) [OK] をクリックする
再起動せずにそのまま使用できます。

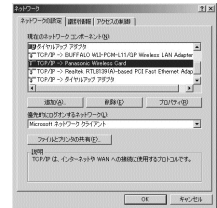
ネットワーク設定

Windows Me/98SEの場合：
画面は、Windows Meの例です。

- (1) [マイネットワーク] を右クリック → プロパティを開く

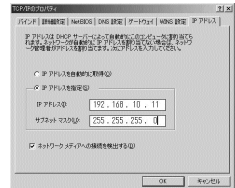


- (2) [Panasonic Wireless LAN PC Card] を選択 → [プロパティ] をクリックする



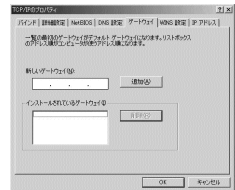
- (3) 本機で設定したIPアドレスと同じセグメントのIPアドレスを入力する

- (4) 本機で設定したサブネットマスクと同じ値を入力する



- (5) ゲートウェイを設定（インフラストラクチャモードのみ） → [OK] をクリック → 前画面に戻る

- (6) [OK] をクリックする



- (7) [はい] をクリックする



ネットワーク設定

Windows CEの場合：

画面は、PDA（携帯情報端末）のものですが、メーカーや機種によって異なる場合があります。本機が工場出荷状態または簡単接続オンの場合の設定例です。

(1) PDAにて、[設定] → [接続] → [ネットワークアダプタ] → [Gemtek Wireless LAN PC Card] を選択 → [プロパティ] をクリックする



(2) [指定されたIPアドレスを使用する] にチェック → 本機と同じグループのアドレスを設定する

(3) IPアドレスを [192.168.10.20] に、サブネットマスクを [255.255.255.0] にする → [OK] をクリックする



(4) 本機がWEP（暗号化）を使用している場合、[スタート] → [設定] → [システム] → [Wireless Settings] → [Encryption] → を選択する



(5) Encryption (WEP) を Disabled から 64 bits または 128 bitsに変更 → Create Keys Manually にチェック → Key1に16進 (0-9、A-F) で本機と同じWEPキーを入力 → [Apply] をクリックする

本機のWEP設定を文字入力で行う場合は、次ページのアスキーコード表を参考にして16進で入力してください。

ネットワーク設定

		30	0	40	@	50	P	60	`	70	p
21	!	31	1	41	A	51	Q	61	a	71	q
22	"	32	2	42	B	52	R	62	b	72	r
23	#	33	3	43	C	53	S	63	c	73	s
24	\$	34	4	44	D	54	T	64	d	74	t
25	%	35	5	45	E	55	U	65	e	75	u
26	&	36	6	46	F	56	V	66	f	76	v
27	'	37	7	47	G	57	W	67	g	77	w
28	(38	8	48	H	58	X	68	h	78	x
29)	39	9	49	I	59	Y	69	i	79	y
2a	*	3a	:	4a	J	5a	Z	6a	j	7a	z
2b	+	3b	;	4b	K	5b	[6b	k	7b	{
2c	'	3c	<	4c	L	5c	¥	6c	l	7c	
2d	-	3d	=	4d	M	5d]	6d	m	7d	}
2e	.	3e	>	4e	N	5e	^	6e	n	7e	~
2f	/	3f	?	4f	O	5f	_	6f	o		

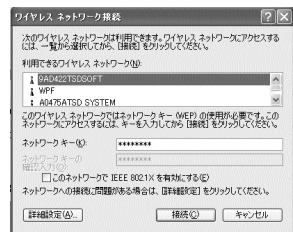
ネットワーク設定

■ 別売ワイヤレスカード (TW-CDWL2) 使用のための設定

Windows XPの場合：

専用のユーティリティソフトは不要です。詳細はWindows XPのマニュアルをご覧ください。

- (1) 本機の電源をオンにする
- (2) [スタート] → [接続] → [すべての接続を表示] → [ワイヤレスネットワーク接続] を選択する
- (3) [Panasonic Wireless LAN PC Card] アイコンを右クリック → [利用できるワイヤレスネットワークの表示] を選択する
ワイヤレスネットワーク接続画面が表示されます。
- (4) [利用できるワイヤレスネットワーク] の一覧から本機の SSID (工場出荷設定はPanasonic Projector) を選択 → [接続] をクリックする



お知らせ：

- 本機にて暗号化 (WEP設定) が設定されている場合は、[接続] をクリックする前に [ネットワークキー] にWEPキー (文字入力) の情報を入力してください。(工場出荷設定はWEPなし)
- ネットワークの詳細設定を確認したいときは、ネットワーク接続画面で [ワイヤレスネットワーク設定] アイコンをクリックしてください。

ネットワーク設定

Windows 2000/Me/98SE の場合：

お願い：

簡単接続中はユーティリティソフトを使用しないでください。本機との接続で問題が発生する場合があります。

- (1) パソコン右下の常駐アイコンをダブルクリックする
ユーティリティソフトが起動されます。



- (2) [設定] の項目をクリック → [追加する] をクリック



お知らせ

設定済みの内容を変更するときは、変更する設定名をマウスで選択した後 [編集する] をクリックします。

- (3) ネットワークの設定名を入力 → [次へ] をクリック
→ ネットワーク名（接続したい本機のSSID、工場出荷設定はPanasonic Projector）を入力する



- (4) 通信モードを選択 → 通信速度を [自動] に設定 → [次へ] をクリックする

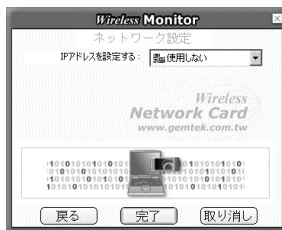


お知らせ：

- 通信モードは、アドホックモードには対応していません。802.11 アドホック (Peer to Peer) かインフラ (Access Point) を選択します。
- 別売品 (TW-CDWL2) 以外のカードにはアドホックモードのみにしか対応していないものがあります。このようなカードは使用できません。
- 暗号化 (WEP) 設定をするときには、[Off] から 64 (40) bits/128 bitsを選択し、[次へ] をクリックします。使用しないときは [Off] にします。
- WEPの入力は文字入力か16進入力を選択できます。
文字入力：64 (40) bits では5文字、128 bits では10文字
16進入力：0-9、A-Fでそれぞれ10文字、20文字
- WEPキーは本機側の設定に合わせてください。そしてデフォルトキーは1のままにしてください。



- (5) [IPアドレスを設定する] を [使用しない] に設定 → [完了] をクリックする



お知らせ：

リンクの状態でご機との接続状態を確認出来ます。[詳細...] をクリックします。



Windows CEの場合：

画面はPDA（携帯情報端末）のものですが、メーカーや機種によって異なる場合があります。本機が工場出荷状態または簡単接続オンの場合の設定例です。

- (1) PDAにて [スタート] → [設定] → [システム] → [Wireless Settings] を選択する



お知らせ：

[Wireless Settings] が表示されない場合は、PDAのハードリセットをしてください。

- (2) Modeを [802.11 アドホック]、SSID を [Panasonic Projector] に設定 → [OK] をクリックする

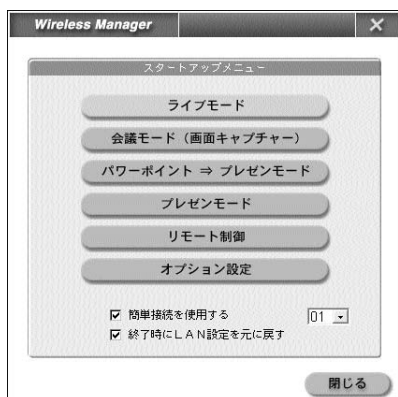


Wireless Manager 3.0を使用する

起動

[スタート] → [プログラム] → [Wireless Manager] → [Wireless Manager 3.0] を選択する

下の画面が表示されますので、使用したい機能を選択してください。



お知らせ：

- [簡単接続を使用する] にチェックがある場合、パソコンのIPアドレス、無線LANのSSID、通信モード等を自動的に設定します。この時、右側にダウンリストが表示されますので、複数のパソコンを使う場合は異なる番号を選択してください。
- [終了時にLAN設定を元に戻す] にチェックがある場合、簡単接続使用時に限り、Wireless Manager の終了時に簡単接続前のLAN設定に戻します。ただし、Windows XP の場合は、表示されません。尚、[簡単接続を使用する] にチェックがない場合は、[終了時にLAN設定を元に戻す] は表示されません。

ライブモード

パソコン画面がそのまま本機に転送されます。

このモードでは、一台のパソコンが本機を専有しますので、ワイヤレスカードで他のパソコンから本機へ接続ができません。

■ 転送モードの選択

パソコン右下の常駐アイコンを右クリック → [オプション] → [ライブ設定] を選択します。

[ノーマルモード]、[自然画モード]、[高速モード]、[高画質モード] の4つから選択できます。工場出荷設定は、[ノーマルモード]です。



Wireless Manager 3.0を使用する

■ ライブモード中

常駐アイコンの色が通常青色から緑色に変化し、タスクトレイのライブモードにチェックが付きます。

■ ライブモードの中止、再開

タスクトレイでライブモードをクリックしてください。中止、再開が交互に切り替わります。また、常駐アイコンをダブルクリックしても可能です。

お知らせ：

ライブモードでの表示速度はパソコンのCPU性能に依存します。

表示速度が遅い場合は、転送モードを変えるか、CPU性能のより高いパソコンをお使いください。

会議モード（画面キャプチャ）

パソコン画面をキャプチャして、本機に画像を送ります。

ワイヤレスカードの接続を切り替えることなく、複数のパソコンから画像を送ることができます。また、一度キャプチャした画像は、オプション設定で[画像保存]にチェックを入れることによりプレゼンモードで何度でも投写できます。

キャプチャモード

[全画面]：


パソコンの画面全体がキャプチャされ、PictureBoxに表示されます。

[領域]：

パソコン画面の一部（矩形領域）を切り取って、キャプチャされます。

[]：

パソコンに表示されているウインドウのうちの一つを指定してキャプチャできます。

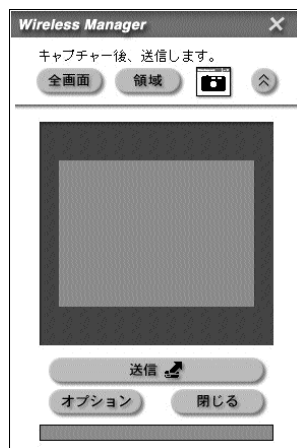
[]をキャプチャしたいウインドウの上にドラッグ&ドロップします。

[]：

フル表示切替えボタンです。押すたびに、画面サイズが変更されます。

[オプション]：

押すと、画面キャプチャ（取り込み）の各種設定の画面が表示されます。



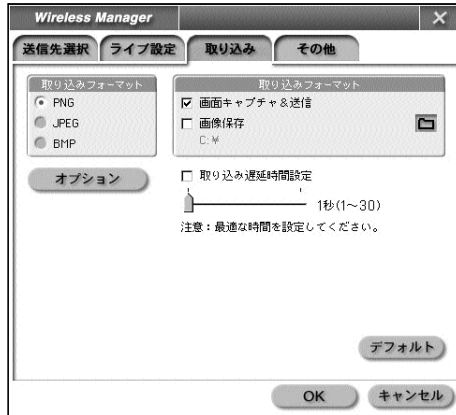
お知らせ：

オプションで [画像キャプチャ&送信] にチェックをすると、キャプチャと同時に本機へ画像を送ります。

Wireless Manager 3.0を使用する

■ 取り込みフォーマットの選択

画像キャプチャ時、フォーマットの選択ができます。



[PNG] :

画質の劣化はありませんが、自然画等には適しません。

[JPEG] :

自然画に適した圧縮方式です。文字の多い画像には画質劣化が大きく適していません。なお、JPEGのみオプションで画質調整ができます。

[BMP] :

圧縮されませんので、画像のデータ容量が非常に大きくなります。

■ 取り込み後の作業


[画像キャプチャ&送信]にチェックがある場合 :

パソコン画面のキャプチャ後、本機への画像送信を行います。

[画像キャプチャ&送信]にチェックがない場合 :

キャプチャのみ行います。

[画像保存]にチェックがある場合 :

指定先のフォルダにキャプチャした画像データが保存されます。[]ボタンで保存先の変更ができます。

■ 取り込み遅延時間設定

パソコンの能力が低い場合、パソコン画面のキャプチャがうまくできないことがあります。その場合に、最適な時間に調整してください。通常は設定する必要はありません。

プログレスバー :

画像を本機へ転送している間、バーで表示されます。

Wireless Manager 3.0を使用する

パワーポイント⇒プレゼンモード

パワーポイントファイル (*.ppt) を本機に送ることができる画像ファイルに変換します。

スタートアップメニューから [パワーポイント⇒プレゼンモード] を実行する → [ここにパワーポイントファイル (*.ppt) をドラッグ&ドロップしてください] のメッセージが表示される → 必要なパワーポイントファイルをこの画面上にドラッグ&ドロップする。

保存先のフォルダを指定した後、自動的に画像ファイルへの変換が始まります。すべての変換が終了すると、プレゼンモードの画面が表示されますので、変換されたパワーポイントファイルの一覧が確認できます。

以後の操作については、プレゼンモードの説明をご覧ください。

プレゼンモード

画像ファイル (JPEG、PNG) がすでにある場合、そのフォルダ名を左上のフォルダ選択で指定するとフォルダ内のサムネイル画像の一覧が表示されます。「パワーポイント⇒プレゼンモード」の場合は、変換された画像のフォルダが自動的に選択されます。



■ 画像の送信

マウス、または、矢印キーでサムネイル画像を選択 → [送信] ボタンを押す
画像が本機に送られ投写されます。投写されると同時に左の枠内 (プレビュー画面) に投写されている画像と同一の画像が表示されます。

Wireless Manager 3.0を使用する

■ プレゼンモード

[プレゼンモード] にチェック → [送信] ボタンを押す

送信後、自動的に次の画像が選択されます。また、事前に次の画像を本機に送っているため、時間的遅れもなく、画像切り替えができます。その上、本機を専有して使用できますので、他のパソコンから接続されることはありません。

■ プロGRESSバー

画像をプロジェクトへ転送している間、バーで表示されます。

■ 表示画面の切り替え



[表示切替] :

ボタンを押すと本機で投写されている画像が右の大きな枠(サムネイル表示画面)に、そして次の画像がプレビュー画面に表示されます。

[追加] :

異なるフォルダの画像を追加することができます。追加された画像は、サムネイル表示画面の最後尾に追加されます。

[削除] :

サムネイル表示画面で選択された画像の削除ができます。

お知らせ :

削除した画像ファイルはパソコンのゴミ箱に存在しています。誤って削除した場合は、ゴミ箱から戻してください。

[順番の変更] :

サムネイル表示画面でドラッグ&ドロップ操作をして画像の順番入れ替えができます。

Wireless Manager 3.0を使用する

[再表示]：

最新のサムネイル画像の一覧に更新します。例えば、エクスプローラ等でフォルダ内の画像編集をした場合、再表示ボタンでその結果をサムネイル表示画面に反映します。

[自動再生]：

フォルダ内の画像を初めから最後まで一定の時間で順次画像を切り替えて表示できます。

自動再生は、現在選択されているサムネイル画像から開始されます。自動再生中は [自動再生] ボタンが [一時停止] ボタンに変わります。一時停止は次の送信画像が選択されていますが、停止をした場合、フォルダの先頭の画像に戻ります。自動再生時も本機を専有しますので、他のパソコンから本機に接続できません。なお、[オプション] → [その他] で、画像の表示間隔とループ回数（表示回数）の設定ができます。

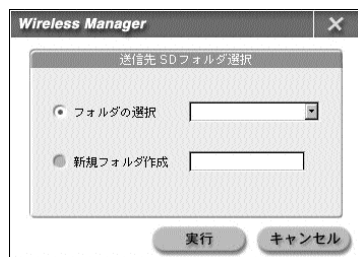
[タイマー]：

ボタンを押すごとに、[スタート] → [ストップ] → [リセット] に変わります。スタートでタイマーが開始し、ストップで停止、リセットで0になります。プレゼン時の経過時間の参考にお使いください。

SDとの通信（[送信]、[受信]）：

パソコンからフォルダ内のすべての画像を本機にセットされているSDメモリーカードへ送信したり、逆にSDメモリーカード内の指定されたフォルダの画像をパソコンで受信したりすることができます。

受信するときは、プレゼンモード画面で選択されているフォルダに画像データが保存されます。



お願い：

SDメモリーカードと通信をしている間は本機本体の電源をオフにしたり、SDメモリーカードを本体から抜いたりしないでください。データの破壊だけでなく、SDメモリーカードの破損の原因になります。

Wireless Manager 3.0を使用する

その他の機能

■ 本機の検索

簡単接続を使用する場合は、必要ありません。簡単接続をしない場合や本機を複数台使用する場合に必要です。

【オプション】 → **【送信先選択】** で送信先プロジェクトを設定する

【検索】：

接続可能な本機が検索できます。但し、検索できる本機は同一のネットワーク内に限られます。また、本機の電源オフ時も検索できません。



■ 本機の登録

本機の登録をすると、次から同じ本機に接続するときには手続きが不要となります。なお、簡単接続を使用した場合、自動的に本機の登録が行われます。また、簡単接続を使用しない場合は、現在登録されている本機への接続を行います。

複数登録されている場合、最上段のものが指定されます（前回、接続した本機となります）。本機を検索できない場合、[追加] ボタンで本機の IP アドレスを直接入力することもできます。

本機を識別するためのホスト名は、自動的に本機から送られ、表示されます。ホスト名は本機側で設定してください。

■ 本機の削除

登録された本機を削除します。

■ 接続確認

登録されている本機への接続チェックを行います。

Wireless Manager 3.0を使用する

■ 送信者の表示、送信者名

[送信者の表示] をチェック → [送信者] に名前を入力する

会議モード時に本機に送られた画像の右下に入力された [送信者名] が合成されて表示されます。なお、ライブモードやプレゼンモードでは表示されません。ただし、プレゼンモードで [プレゼンモード] にチェックがないときは、1 画像送信時に表示されます。

■ ショートカットキーの設定

[オプション] → [その他] を選択する

[ライブモード] :

ライブのオン/オフを交互に切り替えます。

[全画面送信] :

パソコンの画面全体を本機へ送信します。

[プレゼン] :

プレゼン画面を表示します。

[キャプチャ] :

キャプチャ画面を表示します。



お知らせ :

必ずWireless Manager 3.0 の画面をアクティブにした状態でショートカットキーを使用してください。他のアプリケーションが同時に動作している場合、設定されているショートカットキーが、そのアプリケーションでも使用されていると全く別の機能として働いてしまいます。

■ 自動再生の設定

「プレゼンモード」の自動再生の項をご覧ください。(→43ページ)

■ 簡単接続の設定

簡単接続を行う際に、スクリーンセーバーを無効にできます。

簡単接続中に何らかの異常でハングアップしたときは、[修復] ボタンを押してネットワーク設定を元の状態に復帰させることができます。ただし、すべての異常に対して保証するものではありません。

WEBブラウザコントロールを使用する

ブラウザ閲覧ソフト（Internet Explorerなど）で本機にアクセスし、本機をパソコンからリモートコントロールしたり、本機に挿入しているSDメモリーカードをコントロールしたりすることができます。

本機の設定

1 [MENU] ボタンを押す

2 [◀▶]ボタンでネットワーク設定画面を表示させる



3 [▼] ボタンを押す
[▲▼◀▶]ボタンで設定を変更することができます。
変更終了後[ENTER]ボタンを押します。

■ WEB制御

オン：WEBブラウザコントロールを有効にします。
オフ：WEBブラウザコントロールを無効にします。

■ WEB電源

オン：スタンバイ時にWEBブラウザコントロールで本機のランプを点灯することができます。
オフ：スタンバイ時にWEBブラウザコントロールで本機のランプを点灯することができません。
本機またはリモコンのPOWERボタンでランプを点灯してください。

■ WEBパスワード

16文字以内の英数字で設定します。工場出荷時は設定されていません。パソコンから本機にアクセスしたときにパスワードの問い合わせがあります。ここで設定したパスワードを入力してください。
[▲▼] で [WEB] パスワードを選択し、[ENTER] を押すとソフトキーボードが表示されます。

WEBブラウザコントロールを使用する

パソコンの設定

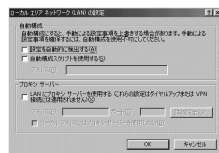
1 [Internet Explorer]アイコンを右クリック

プロパティが開きます。



2 [接続] → [LANの設定]を開く → すべてのオプションのチェックを外す → [OK]をクリック

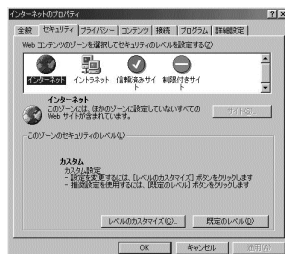
設定画面が閉じられます。



お知らせ：

- 簡単接続を使用したときは、自動的に設定します。
(ただし、Internet Explorer Ver.6.0 以上)
- すでにプロキシサーバーを使用している場合は [詳細設定] のなかで、プロキシサーバーを使用しない例外として、接続する本機のIPアドレスを設定してください。

3 [セキュリティ]で、セキュリティのレベルを[規定のレベル]にする または[レベルのカスタマイズ]から[アクティブスクリプト]を有効にする



お知らせ：

Netscapeの場合は、[編集] → [設定] → [詳細]で、JavaScriptを有効にしてください。

WEBブラウザコントロールを使用する

WEBブラウザコントロールの起動

ブラウザ閲覧ソフトを起動させ、本機で設定したIPアドレスを入力する
(ここではMicrosoft社Internet Explorerを例に説明しています。)

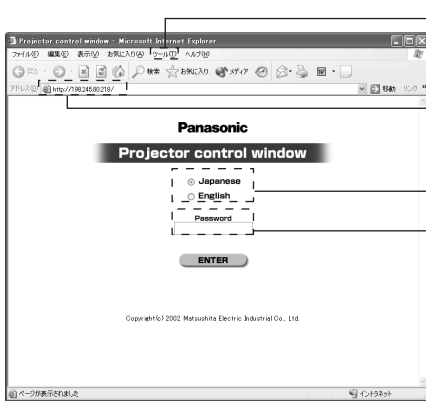


Webブラウザコントロールが起動します。

お知らせ：

WEBブラウザコントロールはWireless Manager 3.0から起動することもできます。Wireless Manager 3.0が起動しているとき、タスクバーに表示されているアイコンを右クリックし、[リモート制御]を選択して左クリックします。[CTRL] + [H] でWEBブラウザコントロールを起動することもできます。

■ トップ画面



プロキシサーバーを使用しないように設定する(プロキシサーバーを使用する場合は、47ページをご覧ください。)

本機のネットワーク設定で付与したIPアドレスを指定する

日本語/英語を選択する

パスワードを設定しているときはパスワードを入力する

お知らせ：

- パスワードを忘れてしまったときは、本機側で新規にパスワードを設定してください。(これまでお使いのパスワードはセキュリティ保護のため、本機でも見えないようになっています。)
- ブラウザ閲覧ソフトによってはトップ画面が表示されないときがあります。再度WEBブラウザコントロールを起動するか、[CTRL] + [R] キーを押してください。

WEBブラウザコントロールを使用する

プロジェクトコントロール

メニューの [プロジェクトコントロール] をクリックする
本機の各種設定を行うことができます。

■ 基本制御画面



お知らせ：

- 電源オンの場合は、一旦画面が閉じられます。ランプ点灯を確認した後、再度トップ画面から入ってください。
- 電源オン直後は、本機と接続できない場合があります。そのときは時間を少しおいて、再度接続してください。
- 本機のネットワーク設定でWEB制御をオンに設定していない場合、基本制御、オプション制御とも動作しません。
- 本機のネットワーク設定でWEB電源をオンに設定していない場合、電源オンの動作は行われません。ただし、本機コントロール画面は、通常の動作可能な場合と同じ表示内容になります。

■ オプション制御画面



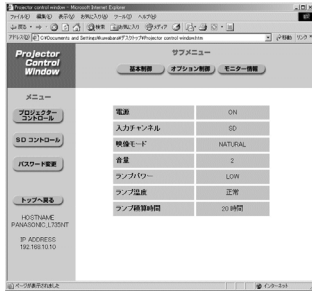
お知らせ：

本機が制御通りに動作しないときは、本体のオプションメニューでWEB制御の項目がオンになっているかを確認してください。

WEBブラウザコントロールを使用する

■ モニター情報画面

電源オン時



WEBスタンバイ時



お知らせ：

モニター情報は、一定の間隔で更新されますが、[表示] → [最新の情報に更新] を押すと、現在の正確な情報を確認することができます。

WEBブラウザコントロールを使用する

SDコントロール

お知らせ：

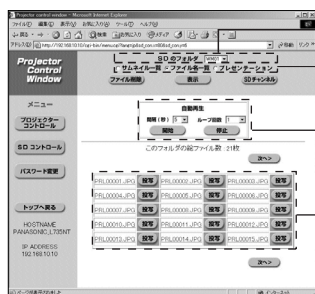
本機のWEBブラウザコントロールでSDメモリーカードを制御する場合は、本機の[オンスクリーンメニュー] → [ネットワーク設定] → [WEB制御] をオンにし、[SDモード] をWEBに設定してください。(出荷時はVIEWERに設定されています。)

1 本機またはリモコンの入力切り替え (RGB) ボタンで [SD CARD] に切り替える

WEBブラウザコントロールの [SDコントロール] → サブメニューで[SDチャンネル] を選択しても切り替えられます。

2 メニューの[SDコントロール]をクリックする

■ SDファイルリスト画面



- SDカード内のフォルダを選択する
- サムネイル表示、ファイル名のリスト表示、プレゼンテーションを選択する
- 自動再生の制御をする
- ファイル名をクリック → WEBブラウザ内で拡大表示される
- [投写] をクリック → 本機で投写される

■ SDサムネイル画面



画像をクリック → WEBブラウザ内で拡大表示される

[投写] をクリック → 本機で投写される

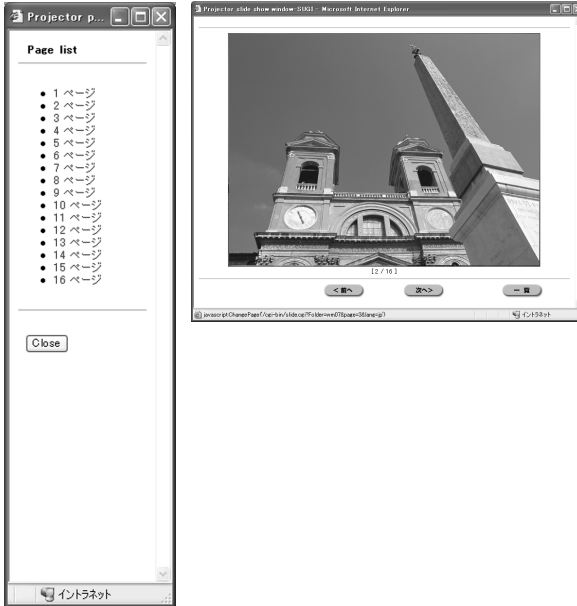
お知らせ：

サムネイル画像が更新されない場合、以下の設定を確認し、異なる場合は再設定してください。

- Internet Explorer
[ツール] → [インターネットオプション] → インターネット一時ファイルの [設定] → [自動的に確認する] にチェック。
- Netscape
[編集] → [設定] → [詳細] → [キャッシュ] → キャッシュにあるページとネットワーク上のページの比較 → [ページが時間切れの場合] にチェック

WEBブラウザコントロールを使用する

■ プレゼンテーション画面



ページをクリック →
WEBブラウザ内で拡大表示
され、本機で投写される

■ パスワードの変更

メニューの「パスワード変更」をクリックする



お知らせ：

パスワードは最大16文字までです。
パスワードに使用できる文字は半角の英数文字と記号です。
大文字/小文字の両方が使用できます。

WEBブラウザコントロールを使用する

PDAを使用する

PDA (Personal digital assistance) などの携帯情報端末から本機にアクセスし、本機を設定したり、SDメモリーカードのデータを操作することができます。PDAやPDA用のネットワークカードの設定については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

■ WEBブラウザコントロール (PDA) の起動

ブラウザ閲覧ソフトを起動させ、下記のアドレスを入力する

http:// (本機で設定したIPアドレス) /index_p.htm

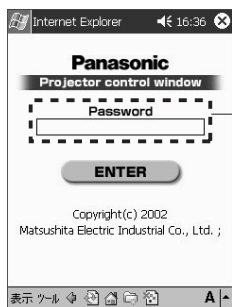
WEBブラウザコントロール (PDA) が起動します。

お知らせ：

- WEBブラウザコントロール (PDA) の画面は英語表示です。
- ここでは、Pocket Internet Explorer3.0、画面サイズはヨコ240×タテ320のPDAを例に説明しています。

■ トップ画面

パスワードを設定しているときは入力し、[ENTER] を押す



パスワードを設定しているときは
パスワードを入力する

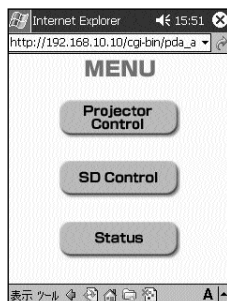
お知らせ：

パスワードを忘れてしまったときは、本機側で新規にパスワードを設定してください。(これまでお使いのパスワードはセキュリティ保護のため、本機でも見えないようになっています。)

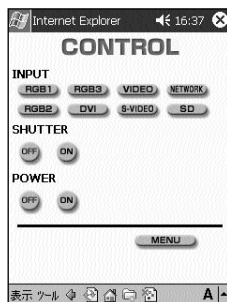
WEBブラウザコントロールを使用する

■ メニュー画面

[Projector Control]、[SD Control] または [Status] を押す



■ Projector Control



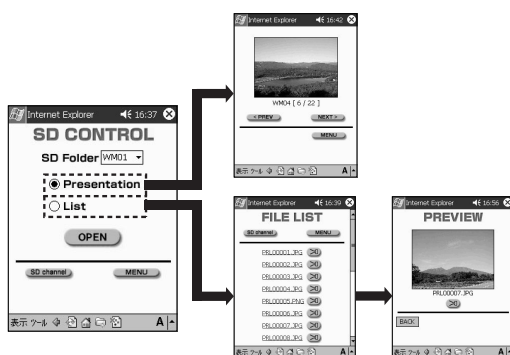
お知らせ：

- 電源オンの場合は、ランプ点灯を確認した後、再度トップ画面から入ってください。
- 電源オン直後は、本機と接続できない場合があります。そのときは時間を少しおいて、再度接続してください。
- 本機のオプション設定でWEB制御をオンに設定していない場合、基本制御、オプション制御は動作しません。
- 本機のオプション設定でWEB電源をオンに設定していない場合、電源オンの動作は行われません。ただし、Projector Control画面は通常の動作可能な場合と同じ表示内容になります。

WEBブラウザコントロールを使用する

■ SD Control

- (1) 本機またはリモコンの入力切り替え (RGB) ボタンで [SD CARD] に切替える
本機コントロールの画面でも切り替えることができます。
- (2) メニューの [SD Control] をクリックする
- (3) SDメモリーカード内のフォルダを選択する
- (4) 制御モード (プレゼンテーションまたはリスト) を選択する



プレゼンテーション :

NEXTボタンで次の画像、PREVボタンで前の画像が投写されます。

リスト :

再生可能なファイルのリストが表示されます。再生したいファイルの右横ボタンを押すと画像が投写されます。

■ Status

電源オン時

Hostname	
Power	ON
Input	SD
Lamp Run time	20 h
Lamp Temperature	Good
Lamp Power	LOW

WEBスタンバイ時

Hostname	
Power	STANDBY
Lamp Run time	20 h

お知らせ :

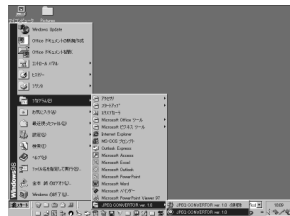
Status 情報は一定の間隔で更新されますが、WEBブラウザの更新ボタンを押すと現在の情報が表示されます。

Image Creator 1.0Aを使用する

Image Creator 1.0Aの起動/終了

■ 起動

画面左下の [スタート] メニューから [プログラム] → [Image Creator] → [Image Creator 1.0A] を選択する



■ 終了

操作画面の [終了] をクリックする

メイン画面の各部の機能

Image Creator 1.0A を起動するとメイン画面が開きます。
メイン画面の各部の機能は下記の通りです。

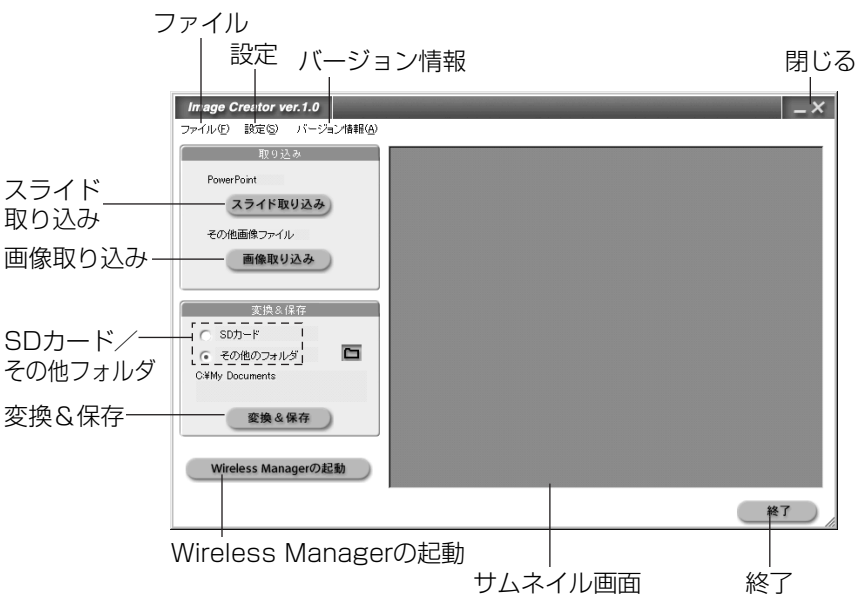


Image Creator 1.0Aを使用する

[ファイル] メニュー：

[スライド取り込み]、[画像取り込み]、[変換&保存]、[終了] をメニューから行うことができます。

[設定] メニュー：

[JPEG変換フォーマット] の変更（DCF形式で保存、サムネイルを作成）および [JPEG画質] の調整（低画質、高画質）を行うことができます。

[バージョン情報]：

[Image Creator 1.0A] ソフトウェアのバージョンが確認できます。

[スライド取り込み] ボタン：

Microsoft PowerPointで作成したプレゼンテーションファイルを [Image Creator 1.0A] に取り込みます。

[画像取り込み] ボタン：

他のアプリケーションで作成した画像ファイル（JPEG、BMP、TIFF、PNG）を [Image Creator 1.0A] に取り込みます。

[SDメモリーカード/その他フォルダ] 選択：

取り込んだ画像ファイルの保存先を選択します。

[変換&保存] ボタン：

[SDメモリーカード/その他フォルダ] で選択した保存先に対しフォーマット変換（自動変換、JPEG変換、PNG変換）および、サイズ変換を行い、保存します。

[Wireless Managerの起動] ボタン：

Wireless Manager ver.3.0を起動します。

（起動するとタスクマネージャー上に格納されます。マウス右クリックで操作が可能になります。）

あらかじめ、Image Creator 1.0A を使って画像を保存した場合、Wireless Manager 3.0 の起動後、プレゼンモード画面が表示され、Image Creator 1.0A で保存された画像のサムネイル表示まで一括して行われます。ただし、Wireless Manager 3.0 がすでに起動している場合は、プレゼンモード画面を表示しないことがあります。

サムネイル画面：

Image Creator 1.0A に取り込まれた各画像の縮小画像が表示されます。マウスの右クリックで画像の並べ替えや削除ができます。

[終了] ボタン：

Image Creator 1.0A を終了します。

[閉じる] ボタン：

Image Creator 1.0A を終了します。

Image Creator 1.0Aを使用する

取り込み画像の変換と保存

メイン画面の [変換&保存] をクリックする
設定画面が表示されます。



Image Creator 1.0Aを使用する

[スライド] ボタン：

Image Creator 1.0A に取り込まれた画像ファイルの表示を切替えます。

[圧縮方式] 設定：

保存する圧縮形式を設定します。(AUTO/JPEG/PNG形式の選択が可能です。)

お知らせ：

AUTOの場合は、画像に応じて最適な圧縮方式が自動的に選択されます。

[変換&保存サイズ] 設定：

保存するファイルの画面サイズを設定します。

[現在の画像] ボタン：

現在選択されている画像ファイルを、設定された [圧縮形式] / [画面サイズ] でSDメモリーカード、またはその他のフォルダ上に保存します。

保存されるファイル名は自動付与されます。

[全ての画像] ボタン：

Image Creator ver.1.0A に取り込まれた全ての画像ファイルを、設定された [圧縮形式] / [画面サイズ] でSDメモリーカード、またはその他のフォルダ上に保存します。保存されるファイル名は自動付与されます。

スライド表示：

現在選択されている画像ファイルを表示します。

[中止/終了] ボタン：

変換、保存処理の中止、および終了を行います。変換中、または保存中にこのボタンを押すと、以降の処理を中止し、画面を終了します。

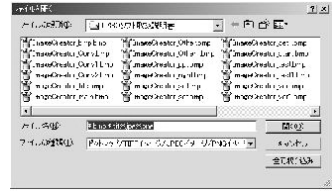
[閉じる] ボタン：

変換、保存処理の中止、および終了を行います。変換中、または保存中にこのボタンを押すと、以降の処理を中止し、画面を終了します。

Image Creator 1.0Aを使用する

Microsoft PowerPoint97/2000/2002で作成したプレゼンテーションファイルを取り込む

- (1) [スライド取り込み] ボタンを押す → 取り込みたいプレゼンテーションファイルを選択する → [開く] 画面が表示される → 変換したいプレゼンテーションファイルがある場所に [ファイルの場所] メニューやフォルダアイコンで移動する → プレゼンテーションファイルを選択する → [開く] ボタンを押す 取り込みが完了するとサムネイル画像が表示されます。



お知らせ：

プレゼンテーションファイルはPPT形式（拡張子が.ppt）で保存されたものしか取り込めません。他の形式（拡張子が.ppsなど）で保存されたファイルは、一度PowerPointで開き、PPT形式で保存してください。

- (2) 取り込み完了した画像ファイルを [変換&保存] ボタンを押し、SDメモリーカード、またはその他のフォルダに保存する

プレゼンテーションファイル内の全てのスライドを取り込む場合：

[全て取り込み] ボタンを押します。

取り込みたいスライドだけを一枚ずつ取り込む場合：

[前のスライド] または [次のスライド] ボタンを押して取り込みたいスライドを表示させて [取り込み] ボタンを押します。

取り込みが終われば [中止/終了] ボタンを押してください。



お知らせ：

- 「全て取り込み」中に、作業を中断したい時は、「中止/終了」ボタンを押してください。
- 取り込まれたスライドの縦横比は4:3に変換されます。4:3以外のスライドの取り込みは、画像が正しく再現されません。
- PowerPoint 97の場合、スライドによっては変換時にエラーが発生する場合があります。その際は、PowerPoint 2000がインストールされたパソコンで変換を行うと、エラーを回避できます。
- PowerPoint 97とWindows 98 の組み合わせで画像ファイルが貼り付けられている場合は、正常に変換できません。

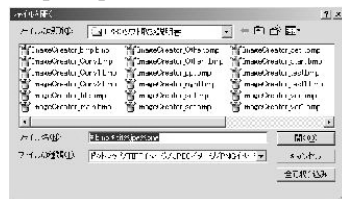
Image Creator 1.0Aを使用する

他のアプリケーションで作成されたJPEGファイルやBMP、TIFF、PNGファイルを取り込む

■ 「画像取り込み」 ボタンを押す

ファイル検索画面で変換したい画像ファイルを選択 → [開く] ボタンを押す

[全て取り込み] ボタンを押すと、現在開かれているフォルダ内のすべての画像ファイルが取り込まれます。



■ 取り込みできない画像について

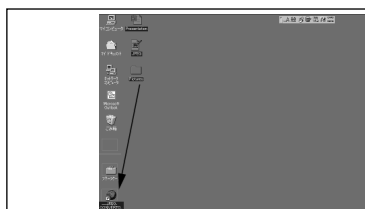
JPEG、BMP、TIFF画像でも、下記の条件にあてはまるものは読み込みできません。

- 縦または横が10 000ドット以上
- RLE圧縮されたBMP画像
- LZW圧縮されたTIFF画像
- CMYK (シアン・マゼンタ・イエロー・クロ) のJPEGまたはTIFF画像
- JPEG2000で圧縮された画像

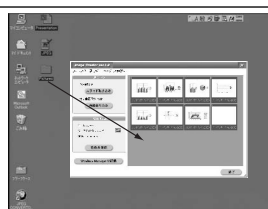
■ ドラッグ&ドロップでファイルを取り込む

「Image Creator 1.0A」はドラッグ&ドロップに対応しています。

変換元のファイルやフォルダを選択し、アプリケーションのショートカットアイコンや、ウィンドウにドラッグ&ドロップすると、「Image Creator 1.0A」が自動的に起動し、ファイルの取り込みを行います。



ショートカットアイコンにドラッグ&ドロップする



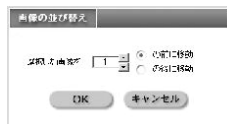
ウィンドウにドラッグ&ドロップする

Image Creator 1.0Aを使用する

■ 画像を並べ替える

移動したい画像をドラッグ → 移動させたい場所でドロップする

画像と画像の間に緑色の太線が縦に表示されます。移動させたい場所でマウスボタンを離すと、画像が移動します。



お知らせ：

下記でも可能です。

右クリック → サブメニュー内の [並び替え...] を選択する → [画像の並び替え] 設定画面で移動させる。

■ 画像を削除する

(1) 削除したい画像を選択する：

[CTRL] キーを押しながらクリック：

複数の画像が選択できます。

[SHIFT] キーを押しながらクリック：

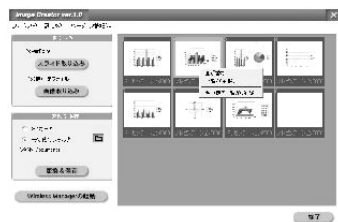
2つの画像の間にあるすべての画像が選択できます。

(2) 右クリックでサブメニューを表示 → [一覧から削除] を選択

[全画像を一覧から削除] を選択すると、取り込まれたすべての画像が削除されます。

(3) 確認画面が表示されるので [はい] をクリックする

画像がサムネイル画面から削除されます。



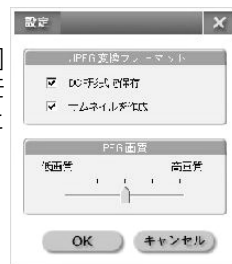
お知らせ：

画像の削除をしても、取り込み元の画像は削除されません。

Image Creator 1.0Aを使用する

■ 画像書き出し時に変換設定する

[設定] メニューの [設定] を選択すると表示される [設定画面] や、メイン画面の [JPEG画質] 調整スライダーで、SDメモリーカードや他のフォルダに保存する際の変換設定をすることができます。



[JPEG変換フォーマット] チェックボックス：

このチェックボックスに マークをつけると、保存する際に、ファイル名やディレクトリ名がDCF形式に変換されます。 マークがついてない場合は、サムネイル画面の各画像の下に表示されているファイル名で保存されます。DCF規格については、65ページ [DCF規格について] を参照してください。

お知らせ：

SDメモリーカードに保存する場合は、強制的にDCF形式に変換されます。

[サムネイルを作成] チェックボックス：

このチェックボックスに マークをつけると、保存する際に、JPEG画像に縮小画像（サムネイル）を作成し、画像ファイルに埋め込まれます。

お知らせ：

SDメモリーカードに保存する場合は、強制的にサムネイルが作成されます。

[JPEG画質] 調整スライダー：

[SDメモリーカードに保存] ボタンや [その他のフォルダに保存] ボタンでJPEG画像を保存する際の画質（圧縮率）を調整します。

高画質にすればファイル容量が大きく、低画質にすればファイル容量が小さくなります。（高画質に比べて約5分の1）

お知らせ：

JPEGは、写真などの自然画に効果的な圧縮方式です。PowerPointで作成したプレゼンテーションや、グラフィックソフトウェアで作成したイラストなどの場合は、高画質に設定しても、画質の劣化が目立つ場合があります。

Image Creator 1.0Aを使用する

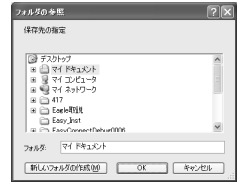
他のフォルダ（ディレクトリ）に保存する：

[他のフォルダに保存] ボタンで、パソコン内のハードディスクやMOなどに取り込んだ画像を保存することができます。



Image Creator 1.0A メイン画面の [その他のフォルダに保存] を選択し、保存先のフォルダを選択する：

[保存先の指定] 画面で、書き出したいフォルダがある場所に [ファイルの場所] メニューやフォルダアイコンで移動し、フォルダを開き [保存] ボタンを押してください。



お知らせ：

[新しいフォルダの作成] ボタンで、新たにフォルダを作成することができます。ただし、Windows 98 SE/Me では [新しいフォルダの作成] は表示されません。

Image Creator 1.0Aを使用する

DCF規格について

DCF規格には、下記のような条件があります。

■ ディレクトリ（フォルダ）名

ディレクトリは、[DCIM] ディレクトリ内に作成する必要があります。

- [DCIM] ディレクトリ以外のディレクトリに入っているデータについては認識されません。

ディレクトリ名は、[3桁数字（ディレクトリ番号）+5文字アルファベット] にする必要があります。（例:100abcde）

- 3桁数字については100～999の数字、5文字アルファベットについては、[0123456789abcdefghijklmnopqrstuvwyz_（アンダーバー）] の37種類の文字が使用できます。（大文字と小文字の区別はありません。また、全角文字は使用できません。）

同じ3桁数字（ディレクトリ番号）の複数のディレクトリを作成することはできません。

ディレクトリの階層化には対応していません。

■ ファイル名

ファイル名は、[4文字アルファベット+4桁数字（ファイル番号）+.jpg（拡張子）] にする必要があります。（例:abcd0001.jpg）

4文字アルファベットについては：

[0123456789abcdefghijklmnopqrstuvwxyz_（アンダーバー）] の37種類の文字、4桁数字については0001～9999の数字が使用できます。（半角の大文字または小文字を使用してください。）

同一ディレクトリ内に、同じ4桁数字（ファイル番号）の複数のファイルを作成することはできません。

■ ファイル形式

Exif2.1 準拠のJPEG画像のみ対応しています。

SD メモリーカードを使用する

SDメモリーカードの画像を再生する

- 1** 本機またはリモコンの入力切り替え (RGB) ボタンで [SD CARD] に切り替える
フォルダ選択画面が表示されます。

- 2** [▲▼] でフォルダを選択する → [ENTER] を押す
ファイル選択画面が表示されます。

お知らせ：

- 3つ以上のフォルダがあるときは▼ボタンを押していくと3フォルダずつ表示が切り替わります。
- 画像ファイルにあらかじめサムネイルが埋め込まれていないときは、表示に時間がかかります。
- 画像ファイルが入っていないフォルダは選択できません。
- フォルダ選択画面に戻るときは[MENU]ボタンを押します。

- 3** [▲▼◀▶] でファイルを選択する → [ENTER] ボタンを押す
選択した画像が全画面で表示されます。
オートプレイがオフのとき、[◀▶] ボタンで前後の画面に表示を切り替えることができます。

お知らせ：

- ファイルが10枚以上あるときは、下列のファイルがカーソルで選択されている状態で▼ボタンを押すか、右下のファイルがカーソルで選択されている状態で▶ ボタンを押すと、10番目以降のファイルが表示されます。
- ファイル選択画面に戻るときは[MENU]ボタンを押します。
- オートプレイがオンのときは、全画面が表示されるとともに自動再生が始まります。

SD メモリーカードを使用する

SD VIEWER (SD用ガイド表示)

フォルダ選択画面とファイル選択画面で以下のように表示内容が異なります。

■ フォルダ選択画面

上段：カーソルで選択されているフォルダ名、フォルダ番号/全フォルダ数

中断：SDメモリーカードの残りの容量

下段：自動再生（オートプレイ）の設定内容

オートプレイ オン/オフ、再生間隔、繰り返し回数

■ ファイル選択画面

上段：カーソルで選択されているフォルダ名-ファイル名、ファイル番号/全ファイル数

中断：SDメモリーカードの残りの容量

下段：自動再生（オートプレイ）の設定内容

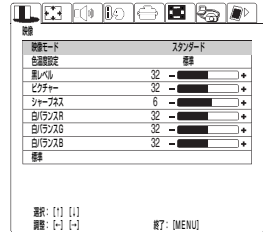
オートプレイ オン/オフ、再生間隔、繰り返し回数

SD メモリーカードを使用する

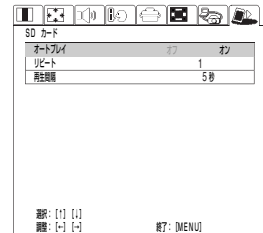
自動再生（オートプレイ）の設定

出荷時は自動再生はオフになっていますので以下の設定が必要です。

- 1 [MENU] ボタンを押す
メニュー画面が表示されます。



- 2 [◀▶] SDメモリーカード画面を表示させる



- 3 [ENTER] ボタンを押す

- 4 [▲▼] で項目を選択し、[◀▶] で設定する

オートプレイ:

オン: 画像再生時に、自動的に次の画像に切り替わります。

オフ: 画像の自動切り替えは行われません。

リピート:

1~10: オートプレイが「オン」のとき、選択した回数だけ繰り返し自動再生します。

連続: オートプレイが「オン」のとき、無制限に自動再生を繰り返します。

再生間隔:

オートプレイが「オン」のとき、次の画像に切り替わる時間を設定します。5秒から60秒まで5秒単位で設定できます。

お知らせ:

画像によっては表示までに時間を要する場合があります。この場合は、再生間隔が設定時間以上に長くなる場合があります。

SD メモリーカードを使用する

自動再生の設定後、チャンネルを本機またはリモコンの入力切り替え (RGB) ボタンで [SD CARD] にしてください。SD VIEWERの最下段に自動再生の設定内容が表示されます。



自動再生したいフォルダを選択し、画像ファイルを選択して拡大画面を表示すれば、そこから自動再生の設定に従い、順次、画像が再生されます。自動再生中は、[MENU] ボタンで停止します。

ソフトウェアのアンインストール

Wireless Manger 3.0

デスクトップから、[スタート] → [プログラム] → [Wireless Manager] → [Wireless Manager ver3.0の削除] を選択する

画面の指示に従ってアンインストールしてください。

Image Creator 1.0A

デスクトップから、[スタート] → [プログラム] → [Image Creator] → [Image Creator ver.1.0Aの削除] を選択する

画面の指示に従ってアンインストールしてください。

Wireless LAN Driver

■ Windows XP の場合

- 1 付属の CD-ROM を CD-ROMドライブにセットする
- 2 CD-ROM内の[Wireless Card] → [setup. exe] を実行する
アンインストールのソフトが起動されます。
- 3 [Remove] (削除) のチェックを確認 → [Next] (次へ) をクリックする
- 4 アンインストール完了のメッセージが表示されたら、[Finish] (完了) をクリックする

■ Windows 2000/Me/98SE の場合

- 1 [スタート] → [プログラム] → [Wireless Network] → [Uninstalled] を実行する
- 2 [Remove] (削除) のチェックを確認 → [Next] (次へ) をクリックする
- 3 [Yes, I want to restart my computer now.] (今からパソコンを再起動する) のチェックを確認 → [Finish] (完了) をクリックする

用語の説明

LAN

Local Area Networkの略。会社内など比較的狭い範囲のネットワークのことです。ワイヤードLANとワイヤレスLANがあります。

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。インターネットの標準プロトコル。

プロトコルとはパソコン同士がデータ通信する際の規約、約束事のことをいいます。

IPアドレス

IP (Internet Protocol) は、データを配送するためのプロトコルで、データを配送する先にあたるアドレスのことをIPアドレスといいます。同一LAN内で同じIPアドレスを使用することはできません。

サブネットマスク (Subnet Mask)

TCP/IP接続時には、ネットワークをいくつかに分けるため、パソコンに割り当てるIPアドレスの範囲を限定します。このときにネットワークを区切るための数値をサブネットマスクといいます。

ゲートウェイ (Gateway)

異種のネットワークを接続する中継点のことをいいます。

使用しているネットワークの規格と異なったネットワークなどに接続する場合などに使われるハードやソフトのことをいいます。双方のネットワーク間のプロトコルの違いなどを調整して、他のネットワークとの接続を可能にします。

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocolの略。接続されている機器に自動的にIPアドレスを割り振る機能。DHCPサーバーの機能を持った機器がLAN内にあれば接続されている機器に自動的にIPアドレスを割り振ります。本機側では対応していません。

アドホック (AdHoc) モード

本機とワイヤレスLAN内蔵パソコンまたはワイヤレスLANカードを取り付けたパソコンとの間で、直接、通信するモードです。本機とパソコンでチャンネルを共通に設定する必要があります。このモードに対応していないカードもあります。

インフラストラクチャ (Infrastructure) モード

ワイヤードLANに接続したアクセスポイントを介して通信を行うモードです。ワイヤレスLANカードを取り付けていないパソコンでもアクセスポイントを介して本機に画像を転送することができます。

用語の説明

802.11 AdHoc (Peer to Peer) モード

本機とワイヤレスLAN内蔵パソコン、またはワイヤレスLANカードを取り付けたパソコンで直接通信するモードです。SSID の設定が必要です。

アクセスポイント

ワイヤードLANとワイヤレスLANとをつなぐ無線基地局。

チャンネル

通信時に同じ周波数帯を利用した複数のアクセスポイントを近くに設置すると、お互いの電波が干渉して通信速度が落ちる場合があります。ワイヤレスLANではこれを少なくするため、周波数帯を14のチャンネルに分けて通信を行うことができます。(使用される国によってチャンネル数は異なります。)ただし、隣り合うチャンネルは干渉があるため、通常運用の際には2、3チャンネル離して設定します。

SSID

Service Set IDの略。アクセスポイントを利用するワイヤレスLANでは、そのLANに含まれる機器とそうでない機器を区別するためにSSIDの識別コードを設定する必要があります。

一部メーカーのワイヤレスLANカードによっては、「ESSID」や「ネットワーク名」などと表示されている場合もあります。

WEP

Wired Equivalent Privacyの略。通信するデータを暗号化する方式です。暗号キーを作成して通信する利用者だけに知らせることで、第三者に通信データを解読されないようにします。本機では対応していません。

JPEG

Joint Photographic Experts Groupの略。JPEGはISOとITU-TS (IBCCIT) が共同で設立した国際機関の名称ですが、通常は、JPEGで制定された静止画圧縮アルゴリズムの規格の意味で使われます。写真、映像の1コマ、スキャンデータのような静止画を対象に、ファイルサイズを100分の1まで圧縮できます。ただし、圧縮した画像を完全に元に戻すことができません(画質が劣化する)ので、実際には5分の1から30分の1程度までの圧縮率が使われています。色分解の違いによりRGB(赤・緑・青)とCMYK(シアン・マゼンタ・イエロー・クロ)の2種類の形式がありますが、本機やImage Creator1.0AではCMYKをサポートしておりません。

BMP

BitMaPの略。Windowsの点画(ドットの集合で描かれた画像)を扱うための標準画像フォーマット。色数は、モノクロ・16色・256色・1677万色をサポートします。

用語の説明

PNG

Portable Network Graphicsの略。線順次画像（raster image）の可逆圧縮方式で、高い圧縮率のファイルフォーマットです。
可逆圧縮方式のため、JPEGとは異なり、圧縮による画像の劣化はありません。

RLE

Run Length Encodingの略。同じ色が連続する大きな領域をもつ画像を高い圧縮率で圧縮します。RLEは、モノクロ・16色・256色のBMP画像に使用できます。（Image Creator1.0A ではサポートしておりません。）

TIFF

Tagged-Image File Formatの略。コンピューター間で書類を交換するのに使用されます。また、色数は、モノクロ・256色・1677万色をサポートします。1677万色の画像では、透過色を使用できます。

LZW

Lempel-Ziv-Welchの略。Lemple、Ziv、Welchの3人が開発したためこう呼ばれています。TIFF画像の圧縮方法で、画像のパターンをショートコードに変換することにより圧縮します。圧縮による画像の劣化はありませんが、JPEGほど高い圧縮率は期待できません。（Image Creator1.0A では、サポートしておりません。）

DCF

Design rule for Camera File systemの略。JEIDA（日本電子工業振興協会）で規格された、デジタルカメラ間で簡便に画像ファイルを交換するための画像ファイルフォーマットおよびディレクトリ名・ファイル名の規約。Exif 2.1などを元に策定。

Exif 2.1

Exchangeable Image File Formatの略。JEIDA（日本電子工業振興協会）で規格された画像フォーマット。TIFFと、JPEGをベースにしており、デジタルカメラ向けの固有情報と運用規定を追加しています。

PowerPoint（パワーポイント）

Microsoft社のMicrosoft Officeに含まれるプレゼンテーション作成用アプリケーションソフトウェア。95/97/2000/2002のバージョンがありますが、同梱の「Image Creator1.0A」は97/2000/2002のみ対応しております。

修理を依頼される前に

もう一度次の点をお調べください。

症状	ここをお調べください
コンピュータがSDメモリーカードを認識しない	<ul style="list-style-type: none">• PCカードアダプターが、パソコンのPCカードスロットの奥まで確実に差し込まれていますか。• SDメモリーカードが、PCカードアダプターのSDメモリーカードスロットの奥まで確実に差し込まれていますか。• ドライバがインストールされていますか。• IRQ（割り込み信号）番号が不足していませんか。（Windowsのオンラインヘルプをご覧ください。）
書き込みができない	<ul style="list-style-type: none">• SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが [LOCK] 側に設定されていませんか。
パソコンからの映像が映らない	<ul style="list-style-type: none">• ノートパソコンの外部映像出力が、正しく設定されていますか。（ [Fn] + [F3] ボタンを同時に押すと、外部出力の設定が切り替わる場合があります。パソコンの機種によりますので、パソコンに付属の説明書をご覧ください。）
パソコンがワイヤレスカードを認識しない	<ul style="list-style-type: none">• ワイヤレスカードが、パソコンのPCカードスロットの奥まで確実に差し込まれていますか。• ドライバがインストールされていますか。• ワイヤレスカード挿入前にドライバをインストールしましたか。• IRQ（割り込み信号）番号が不足していませんか。（Windowsのオンラインヘルプをご覧ください。）
転送速度が遅くなった	<ul style="list-style-type: none">• WEPの設定を行うと、画像データを変換するため、転送時間がかかります。• 別のワイヤレス機器が同じチャンネルを使用していると、転送速度が遅くなる場合があります。別のチャンネルに設定してください。
ライブモード時画像表示が遅い	<ul style="list-style-type: none">• パソコンCPU の速度が遅くないですか。ライブモードはパソコンCPU性能に大きく依存します。• Windows XP/2000 の場合は、Administrator 権限がないと速度が著しく低下することがあります。

修理を依頼される前に

症状	ここをお調べください
<p>Wireless Manager3.0の簡単接続や「プロジェクト検索」で本機が見つからない</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 本機の電源を入れた直後は、ネットワーク通信の準備中です。しばらくしてから改めて検索してください。 • パソコンと本機との間が離れすぎていないか、障害物があるため電波状態が悪くなっていないか確認してください。 • IPアドレスやサブネットマスクが正しく設定されているかを確認してください。 • パソコンにTCP/IPがインストールされていますか。 • WEPの設定が本機と合っていますか。オプション以外のワイヤレスカードを使用している場合やアクセスポイントを使用している場合にWEP機能を設定していると本機と通信できません。WEP機能を解除してください。 • [インフラストラクチャ (Infrastructure)] モードの場合、本機とパソコンは、使用するアクセスポイント [SSID] と同じ設定にしてください。[SSID] では、半角の英数記号 (大文字、小文字の区別あり) が使えます。また、アクセスポイントに通信できるパソコンを制御する機能を使用していないか確認してください。 • [802.11 アドホック (Peer to Peer)] モードの場合、本機とパソコンのSSIDは同じ設定にしてください。大文字、小文字の区別もあります。 • ワイヤレスカード以外のネットワークデバイスが有効になっていませんか。Windowsのデバイスマネージャーで確認してください。 • プロキシ-クライアントソフトウェアが動作していませんか。本機を通信するときは、無効にしてください。
<p>Wireless Manager3.0の「プレゼンモード」画面では画像が表示できているのに表示できない画像とエラーが表示される</p>	<ul style="list-style-type: none"> • JPEG/PNGの画像などでは更に複数のフォーマットが存在するため、表示できない画像もあります。
<p>Wireless Manager3.0の色表示がおかしく、文字が読みづらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> • デスクトップの何も無いところを右クリックし、[プロパティ] を選択してください。さらに、[画面のプロパティ] 画面の「設定」タブを開き、[画面の色] を [16ビット] 以上に設定してください。

商標について

- SDロゴは商標です。
- Windows、PowerPointは、米国Microsoft Corporation（マイクロソフト社）の米国およびその他の国の商標または登録商標です。
- Macintosh、Macは、米国Apple Computer Inc.（アップルコンピュータ社）の登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では®や™マークは明記していません。

ご注意

- 本製品のソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- 本製品のソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品のソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

M0503-1063

松下電器産業株式会社
システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161

© Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) 2003